

## ⑤ 新型コロナウイルスの影響 (2021年卒)

### 新型コロナウイルス流行の2021年卒採用への影響は？

#### 採用課題として最も高いのは「スケジュールの見直し」

新型コロナウイルスの世界的流行により、2021年卒の採用・就職活動において、合同企業説明会の中止・延期や、Webを活用した説明会・セミナー・面接の増加など、多方面で採用活動の見直しが起こっている。そこで具体的な影響について、全国の新卒採用に関与している人事部門担当者を対象に3月下旬に緊急調査を行った。

まず、新型コロナウイルスによる21年卒採用への影響の有無について尋ねたところ(グラフ①)、58.5%の人事担当者が「影響がある」と回答。「現時点ではないが、

今後は影響がありそう」も32.0%に上った。

これらの回答をした人事担当者に、新型コロナウイルスの影響による21年卒採用の課題を尋ねたところ(グラフ②)、最も多かったのは「採用スケジュールの見直し」で76.0%。次に、「学生への採用情報の周知」(42.1%)、「採用活動で使用する施設等」(41.7%)などが続いた。なお、採用活動プロセスごとの終了時期の変更予定は、書類選考(エントリーシート、履歴書等)は「変更した・する」が34.8%、「検討中(わからない)」が37.6%、内々定・内定出しは「変更した・する」が28.2%、「検討中(わからない)」が44.9%で、検討中が多いものの、終了時期を後ろ倒しにする傾向となっている。

#### 新型コロナウイルス禍の主な動き

2019年末に中国で確認された原因不明の肺炎に端を発し、世界的な流行を見せている新型コロナウイルス。日本においては、20年1月に初の感染者が確認され、4月7日には安倍首相が7都県に対して、同16日には全国に緊急事態を宣言。これを受け、各都道府県で外出自粛要請などが行われた。また、21年卒採用・就職活動について、政府は3月、エントリーシートの提出期限の延長など特段の配慮を要請した。



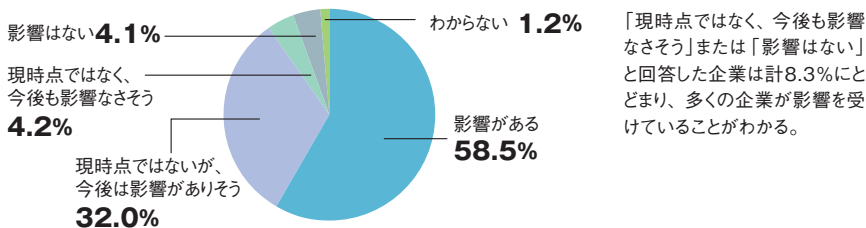
リクルートキャリアの新卒領域に特化した活動レポート『リクルえぽ』では、新型コロナウイルス流行の影響を受けた学生の声や、先行きが不透明な中で学生が就職活動を進めるにあたっての心構えなどを紹介した。

#### 企業

約9割が「影響がある」または「今後影響がありそう」と回答  
「採用スケジュールの見直し」を採用課題に挙げた人事担当者は7割超

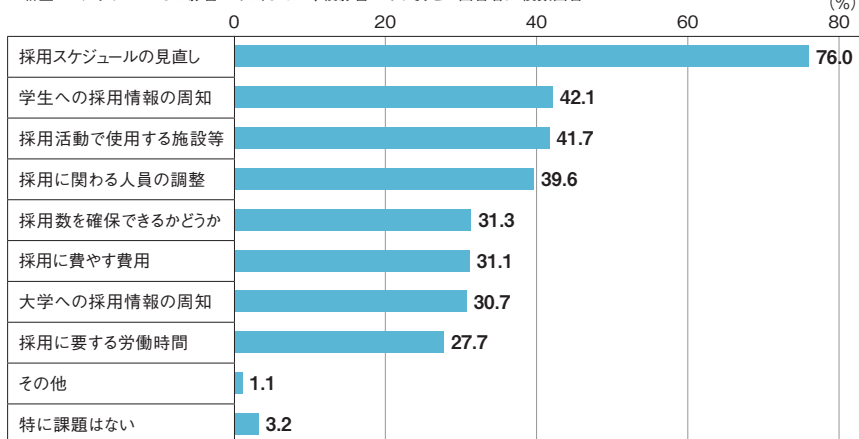
#### ① 新型コロナウイルスによる2021年卒採用への影響

※2021年卒採用実施との回答者／単一回答



#### ② 新型コロナウイルスの影響による2021年卒採用課題

※新型コロナウイルスによる影響がある、または今後影響がありそうとの回答者／複数回答



「学生への周知」「使用施設」「採用に関わる人員」は約4割、「採用数の確保」「費用」「大学への周知」「労働時間」は約3割の人事担当者が課題に挙げている。

(2021年卒採用活動プロセスの見直しの現状に関する調査)

#### 選考中に感染・感染疑いが生じた学生に対する企業の対応

※2021年卒採用実施との回答者／自由回答

- 基本的に、急病や不幸など、不可抗力によるものに対しては極力、柔軟に対応するよう努力しているので、同様に扱う。自覚症状のない患者はそのままのだから、正直に自己申告をした人が不利益を被るようなことには絶対にしないように、全力を尽くす。(神奈川県)
- 柔軟に対応します。それで切ってしまうことはありません。(大阪府)
- 治癒後もしくは陰性判明後に実施することを約束。(栃木県)
- Web上で面接するので、問題ない。体調不良による面接日の振替は可能。(兵庫県)
- 他応募者の進捗にもよるが、できる限り日程を調整して実施したい。(奈良県)
- 一存では決められないのと、社内で方針は決めていないが、おそらく選考日を遅らせる。(北海道)
- まずは治療に専念していただき、回復後に連絡をいただく。その時点で双方で話し合っ対応を検討する。(宮城県)
- 症状が落ち着いて回復するまでは選考日などの予定を一旦キャンセルしてもらい、症状が落ち着いて回復した場合は連絡をするように伝えて別日に予定を組むなどする。(東京都)